

第 2 期県総合戦略の方向性について

1 国の第 2 期総合戦略の方向性について

- ・ 「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（第 1 期「県総合戦略」）の計画期間は、国の第 1 期「総合戦略」同様 5 年であり、今年度は計画最終年度の 5 年目に当たる。
- ・ 国は、令和元年 6 月 21 日に閣議決定した「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」（参考資料 3）において、第 1 期「総合戦略」の成果と課題を検証し、総仕上げに取り組むとともに、年内に第 2 期「総合戦略」を策定する、としている。
- ・ あわせて、「地方においても、国の『総合戦略』を勘案し、地方創生の充実・強化に向け、切れ目ない取組みを進めることが求められることから、各地方公共団体においては、現行の『地方版総合戦略』を検証し、次期『地方版総合戦略』の策定を進める必要がある」としている。

2 第 2 期「県総合戦略」の基本的な考え方について

- ・ 第 1 期「県総合戦略」では、国の第 1 期「総合戦略」を勘案し、国同様 4 つの基本目標に沿って具体的な取組みを進めてきた。今回示された国の基本方針では、4 つの基本目標について、従来の枠組を維持しつつ、必要な強化を行う、としている。
- ・ その際、取組みを実施するに当たり、次の 6 つの新たな視点に重点を置いて施策を推進する、としている。

- 6 つの新たな視点
- ① 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ② 新しい時代の流れを力にする
 - ③ 人材を育て活かす
 - ④ 民間と協働する
 - ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ⑥ 地域経営の視点で取り組む

- ・ 国の第 2 期の方向性を踏まえ、第 2 期「県総合戦略」においても 4 つの基本目標については、原則、従来の枠組を維持しつつ、「かながわグランドデザイン第 3 期実施計画」を踏まえ、基本目標、中柱、小柱、主な取組み、K P I について、必要な見直しを行うこととする。

3 第 2 期「県総合戦略」の見直しのポイント

- ・ 国が第 2 期「総合戦略」で新たに追加した視点については、可能な限り第 2 期「県総合戦略」にも反映する。
 - 例) 人材を育て活かす、誰もが活躍できる地域社会をつくる、Society5.0 等
- ・ 「かながわグランドデザイン第 3 期実施計画」における重点施策で、第 1 期「県総合戦略」に盛り込まれていない、もしくは内容が不十分な施策については第 2 期「県総合戦略」に反映する。
 - 例) SDGs、共生社会の実現、コミュニティの重要性 等
- ・ 第 1 期「県総合戦略」の取組みを進める中で神奈川県地方創生推進会議から受けた指摘事項や、現在作成中の「2015～2018 年度評価報告書」の今後に向けた検討事項に記載した項目についても第 2 期「県総合戦略」に反映する。

※ 「神奈川県人口ビジョン」について

国の「長期ビジョン」について、現在の人口等の見通しが第 1 期の当初時点における推計と大きく乖離していないことなどから時点修正など必要な検討を行うこととしている。また、「地方人口ビジョン」については、最新の数値や状況の変化を踏まえた上で必要な見直しを検討することが求められることから、県人口ビジョンについても、これらのことを踏まえた改訂を行う。